

令和2年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	有限会社アクティブ・プロ・株式会社JTB松江支店 共同事業体	
施 設 名	安来市総合文化ホール アルテピア	
助成対象活動名	公演事業	
内定額(総額)	3,957	(千円)
公演事業	3,957	(千円)
人材養成事業	0	(千円)
普及啓発事業	0	(千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	HAGANE MUSIC 2020 (ハガネ ミュージック 2020)	2020年11月22日※	出演者 PAN NOTE MUSIC&SHU ※6月・12月・2月は、新型コロナウイルス 感染症の影響により中止	目標値	1,000
		アルテピア大ホール		実績値	147※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1				目標値	
				実績値	
2				目標値	
				実績値	

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1				目標値	
				実績値	
2				目標値	
				実績値	

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>【ミッション】</p> <p>当館の理念、①演じる（市民が輝く表現の場）、②観る・聴く（多様な文化芸術に触れることのできる場）、③集う（市民が気軽に訪れる楽しい交流の場）の3本柱の内、②多様な文化芸術に触れることのできる場を機能させる事業として位置付けた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4回実施予定が、延期した上、1回のみの実施になってしまい、多様な文化芸術に触れる場とは言い難い状況となった。</p> <p>【地域の特性】</p> <p>当地は、たたら製鉄の流れをくむ金属関連製造業を中心とした産業が主軸で、ものづくりの伝統と技術を保有する、「ハガネのまち」である。この地域特性の中、「MUSIC×Tradition～音楽と伝統の融合」のキーワードで、「HAGANE MUSIC 2020」として事業を組み立てた。4公演予定が1公演のみ、トリニダード・トバゴ共和国に強制的に連れて来られた奴隷の心の抛り所として生まれたスティールパンの公演を実施できた。特にアウトリーチの小学校公演において、楽器の生まれた経緯を詳しく紹介することができ、子どもたちは、音楽だけでなく海外の民族の気持ちまで想像することができた。</p> <p>【施設の強み・特色】</p> <p>平成30年にオープンした新しい施設のため、特色づくりは今からのスタートである。地域の特性をベースに組み立てた「HAGANE MUSIC」事業を館の特色として今後も打ち出していく。令和2年度は、4回公演の予定が1回しか実施できなかったため、「HAGANE MUSIC シリーズ」としての発信が弱く、特色として強く打ち出せたとはいえない。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>【社会的意義】</p> <p>平成30年に設置自治体がスティールパンを購入し、その後、専属の「やすぎスティールパンオーケストラ」を立ち上げるべくワークショップを続け、令和2年度にようやく、お披露目公演を行うことができた。このオーケストラは、「ハガネのまち」の文化芸術コンテンツとして、今後も「やすぎ刃物まつり」などの観光とも繋げていく。</p> <p>【経済的意義】</p> <p>事業実施と共に、にぎわい創出として、若手ものづくり作家や地域の飲食店と連携し、「ハガネツリー点灯祭」を行った。観客は事業の前後に出店やアートイベントを楽しみ、事業を知らなかった市民にも事業を周知することができた。当地でのにぎわい創出の場としては、道の駅ぐらいしかなかったが、新たに、当館もにぎわいの中心地としての機能をもつことを発信することができた。後日、若手ものづくり作家から、にぎわい創出事業の提案を受けるなど、今後の発展の兆しが見えてきた。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演満足度】

来場者アンケート結果より

平成30年～令和1年平均	令和2年度目標設定	令和2年度実績
80.3%	85%	93%

以上の通り、目標を達成した。

【HAGANE MUSIC 事業の認知度】

来場者アンケート結果より

平成30年～令和1年平均	令和2年度目標設定	令和2年度実績
50.7%	70%	54%

以上の通り、過去の平均よりは上回ったが、目標を達成しなかった。初めて今事業に参加した観客が60%だったため、事業のことは知らないまま誘われて来場した観客が多かったようだ。

【アウトリーチやワークショップの開催】

令和1年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績
3回	4回（本公演1回当たり1回）	2回（本公演1回）

新型コロナウイルス感染症の影響で、本公演が1回になったが、アウトリーチやワークショップは2回実施することができ、目標は達成した。

【チケット販売数】

令和1年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績
412枚	1,000枚（250枚×4公演）	142枚（1公演）

目標は達成しなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で、外出を控える市民が多く、チケット販売が伸びなかった。

【やすぎスティールパンオーケストラ始動】

事業のにぎわい創出部分において、お披露目コンサートを行うことができ、目標を達成した。事業出演者のPAN NOTE MAGICから指導を受けているため、事業実施後にPAN NOTE MAGICメンバーが飛び入りするなどの連携があり、市民に喜ばれた。実施後、このオーケストラに入団したいという問い合わせがあるなど、話題性を高めることができた。

【質の高い音楽を楽しむ】

日本最高峰のプロのスティールパンオーケストラである、PAN NOTE MAGICの公演を実施することができ、目標を達成した。当地での開催は3年目であるが、子どもから高齢者まで年々ファンが増えている。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

【事業内容】

当初予定	KAUNAN（ドイツ・スウェーデン・オーストリア）6月 PAN NOTE MAGIC & サキタハヂメ（日本）8月/Kardeminnit（フィンランド）12月 Cimrron（コロンビア）2月
変更申請後	PAN NOTE MAGIC & SHU（日本）11月

新型コロナウイルス感染症の影響で、海外アーティストの渡航が叶わず、日本人アーティストのみ実施となった。

【収支状況】

	収入額	支出額	収支差額	収益率
当初予定	2,500,000円	12,276,000円	▲9,776,000円	20.4%
実績	369,800円	4,287,234円	▲3,917,434円	8.6%

新型コロナウイルス感染症の影響で、4公演の実施予定が1公演しか実施出来なかった。また、中止や延期のため、作成したにも関わらず、廃棄となったチラシ・ポスター・チケットが2公演分あった。更に、唯一実施できた公演に関しても外出控えをする人が多く、チケット販売が伸び悩んだ。

【広報活動】

例年の広報活動に加え、令和2年度から、ナビゲート会員（主催公演で裏方、チケットもぎり、会場整理など、スタッフとして支援いただく会員）によるポスター貼りを開始した。会員の11人が、30枚のポスターを公共施設以外に貼り、口コミに繋がる周知を行った。

また、公演前に学校アウトリーチ公演1回、ワークショップ1回を行い、地元新聞社やテレビ局と連携し、広報に繋げていった。新型コロナウイルス感染症の影響で、アウトリーチ公演は2回の予定が1回となり、ワークショップの参加者数の上限も1/3に減らさざるを得なかった。直接参加した人数は少なかったが、マスメディアを通して多くの人に公演を知っていただくことができた。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

【提携団体 PAN NOTE MAGIC】

日本で唯一、本場のトリニダード・トバゴ共和国で研鑽を積んだスティールパンオーケストラである。「ハガネのまち安来」の劇場を象徴する楽器として、スティールパンを選択した当館にとって、最も必要な人材である。7名のメンバーはそれぞれが打楽器奏者としても活躍し、第15回日本クラシック音楽コンクール最高位受賞者、イタリア国際打楽器コンクール優勝者、打楽器協会新人演奏会で1位受賞ならびに岩城賞受賞者、ルーマニア国際コンクール第2位受賞者、ベストプレイヤーズコンテスト第3位受賞者、世界スティールパンコンテスト「International Pan Ramajay」ソロ部門ファイナリストをはじめ、スティールパンの本場トリニダード&トバゴで開催された世界最大のスティールパンコンテスト『パノラマ』に現地のバンドのメンバーとして4度優勝した者などで構成されている。

PAN NOTE MAGICが、専属団体、やすぎスティールパンオーケストラの指導を全面的に担っている。

【専属団体 やすぎスティールパンオーケストラ】

関連事業としてお披露目コンサートを行った、やすぎスティールパンオーケストラは、平成30年に設置自治体が楽器を購入し、平成31年に初期メンバーの指導をスタートさせた。初期メンバーは、将来的には指導者となり、スティールパンオーケストラが地元で継続していけるよう、打楽器経験者を集めた。しかし、打楽器経験者であっても、スティールパンを演奏できるようになるには時間が掛かり、令和2年にやっとお披露目を行うことができた。

コンサート後に、このオーケストラへの参加希望があるなど、スティールパンオーケストラの認知度が高まってきた。

【講師 石賀直之】

2013年4月、東京造形大学着任。鳥取県生まれ。横浜国立大学教育人間科学部教育学修士課程修了。横浜市公立小学校教諭、横浜国立大学附属横浜小学校図画工作科、音楽科、国際理解担当、鶴見大学短期大学部保育科専任講師を経て現職。

造形遊びの研究者としてコミュニケーションを主軸とした理論構築を行っている。研究対象は児童生徒のみならず幼児までフィールドを広げており、学校教育に限らず社会や家庭における根源的な造形教育活動の意味の追求を行っている。ワークショッププロジェクト ONZO を主宰し、日本国内のみならずアジア、アメリカ、オーストラリア、エジプト等各国で活動を展開している。

研究対象は多岐にわたり、学校教育における授業改善に関する研究、『小学校図画工作科教科書』の編集及び執筆、ワークショップの開発及び実践、クレヨンなどの幼児向けプロダクトの企画、監修をおこなう。

近年はリズムと造形を融合した即興表現の理論構築と実践を主軸に研究を深めている。所属研究団体は、大学美術教育学会、美術科教育学会、造形教育センター、児童造形研究会、幼児造形研究会。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

【関連事業：学校アウトリーチ】

平成 30 年に当館がオープンするまでは、文化芸術公演は、隣市の松江市か米子市に観に行っていたため、当地の子ども達は、気軽に文化芸術を鑑賞する環境にはなっていなかった。そこで、積極的に子ども達の文化芸術体験の場を増やすため、学校アウトリーチ活動を行っている。

今回の PAN NOTE MAGIC によるアウトリーチ活動は、楽器の演奏だけでなく、楽器が生まれた経緯を音楽劇で表現し、楽器や民族への子ども達の興味を引き出していた。

【関連事業：ハガネツリー点灯祭】

HAGANE MUSIC 公演会場の階下にて、ハガネツリーの点灯祭を行った。公演前には、地元団体の朗読やバルーンパフォーマンス、ものづくりワークショップが行われ、来場者も開演前に楽しむことができた。公演後は、ハガネツリーの前で専属団体のやすぎスティールパンオーケストラが演奏を行った。出演者の PAN NOTE MAGIC のメンバーの一部も飛び入りで参加するなど、ホールの中だけでなく、当館全体で楽しむことができた。ホール公演は未就学児入場不可であったが、ハガネツリー点灯祭には小さな子ども連れの家族が多く来場していたため、未就学児も気軽な雰囲気の中でスティールパンの演奏を楽しむことができた。



(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

【PDCA】

Plan	当館を象徴する事業を創りたいという思いから、事業内容を検討した。当地が「ハガネのまち」であり、たたら製鉄の流れを組む伝統と共に、今も基幹産業であることから、ハガネと文化芸術のマッチングを考え「HAGANE MUSIC」を立ち上げた。出演者は、「MUSIC×Tradition～音楽と伝統の融合～」をキーワードに、伝統的な楽器や音楽を現代に融合させている団体を厳選した。
Do	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、4公演中、1公演しか実施できなかった。
Check	観客アンケートからは、公演の満足度は高かった（93%）が、「HAGANE MUSIC 2020」の認知度は低かった（54%）。公演の中止や延期が続き、上演できるかどうか分からない中で、「HAGANE MUSIC 2020」としてのPR活動が不十分だった。
Action	公演の周知だけでなく、「HAGANE MUSIC」として実施する意義を併せて繰り返し伝えていく。また、館内に常設の「HAGANE MUSIC」コーナーを設け、周知を徹底していく。この「HAGANE MUSIC」展示は近隣でも実施し、より広域に伝えていく。

【財政面】（千円）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指定管理料	124,000	160,000	160,000
補助金	0	0	4,063
助成金	0	200	0

指定管理料は安定している。補助金や助成金を獲得していくことで、事業費の財源確保がなされていく。更に、JVの構成会社のネットワークを活用し、地元マスメディアや地元イベント会社等との共催事業を行い、効率的な事業運営を図っている。

【パートナーズクラブ（友の会）】

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
ナビゲート会員	103人	125人	129人
パートナーズクラブ会員	954人	1,234人	1,282人

ナビゲート会員は、主催事業において、事前のポスター貼りやチラシ配布、当日の会場整理を担当し、共に事業を盛り上げていく。今後、ナビゲート会員による交流会を開催し、劇場と事業をより知ってもらうことで、支援者として劇場を盛り上げていく存在となる。

パートナーズクラブ会員は、年6回以上の当館の情報を受け取ることができ、主催事業の入場料金の割引を受けられることができる。